

## 令和6年度 第1回長野市立図書館協議会開催概要

**1 日 時** 令和6年7月12日（金） 午後2時00分～午後3時55分

**2 場 所** 南部図書館2階大会議室

### 3 出席者

- (1) 委員9名 村田信行委員長、小池博明職務代理者、海沼桂子委員、小林和子委員、  
小林孝子委員、向 紀男委員、村田みつ子委員、柳沢久子委員、  
吉澤多恵子委員
- (2) 事務局10名 教育次長 前島 卓  
家庭・地域学びの課長 藤原慶治、主事 徳武朋香  
長野図書館長 本間尚治、主幹兼館長補佐 稲葉聡子、館長補佐 鈴木正文  
係長 人見一由  
南部図書館長 松本直樹、館長補佐 小林雅治、司書 芹沢広美

### 4 次 第

- (1) 開 会  
(2) 教育次長あいさつ  
(3) 委員長あいさつ  
(4) 報告事項  
ア 第四次長野市子ども読書活動推進計画について  
(5) 協議事項  
ア 令和5年度事業報告について  
イ 令和6年度事業計画について  
ウ その他  
(6) その他  
(7) 閉 会

### 5 議事内容

(1) 開 会 <開会のことば>

#### (2) 教育次長あいさつ

**教育次長：**本日は大変お忙しい中、ご出席いただき感謝申し上げます。ニュースによると松山城麓で土砂崩れがあり、昨日は下関で記録的な大雨とのことで、梅雨だから仕方がなく、また、降らなくても困るが、降りすぎる最近の傾向は少し心配している。長野の天気予報を見ると、明日土曜日は晴れ、日曜日と月曜日が雨だが、その後はずっと晴れで、梅雨がこれで開けるのかと思いつつながら、大きな災害にならないことを祈っている。

委員の皆様には、昨年6月から2年間の任期をお願いをしている。本日の協議会は昨年から数えて3回目の会議となる。皆様のご協力により本日の会議が開催できることに重ねて御礼を申し上げます。図書館は本市の教育文化の発展のために大変重要な場であると考えている。市民の皆様にご親しみを持って利用され、ご要望にお答えし、また、生涯学習に貢献する図書館を目指して、各種事業を実施している。

この南部図書館も昨年秋から耐震補強をはじめとした改修工事を行い、4月1日から通常業務

を再開した。今回の工事では、耐震補強の他にエアコンやトイレの更新、照明の LED 化、床の一部張り替えなどを行った。昨年もこの会場で開催をしているが、昨年に比べて大分雰囲気も明るくなったとお感じのことと思う。図書館利用者からもトイレの使い勝手が良くなったとか、部屋が明るくなったということで、良い評価をいただいている。

また、移動図書館で使用している車両（1台）が老朽化のため、今年度更新する。移動図書館車両はトラックがベースになっており、現在そこに図書を載せる荷台の部分を特注で作っている。順調に行けば、今年の12月から新しい車両で運行できる見込みである。

長野図書館は昭和60年に開館をし、来年の7月1日で40周年を迎える。現在、その記念事業の準備を始めているところである。事業の詳細は予算も関係するため改めて公表する。

また、現在使っている図書館システムの更新時期が近づいている。実務的には長野図書館が担当しシステム更新を行うが、処理能力の向上と安定化を進めるとともに、皆さんがお持ちのスマートフォンにも対応し、利用者のサービス向上、拡大を目指して参りたい。いずれにしても、このシステム更新は来年度事業ということで、本日議論いただく内容ではないが、まずはしっかり予算が獲得できるように努めて参りたい。

本日は報告事項の他、市立図書館の令和5年度の主な事業実績、令和6年度の事業主要事業計画についてご協議をお願いします。市立図書館がより親しまれ利用しやすくなるよう、委員の皆様には忌憚のないご意見、ご提案をいただくようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

### **（3）委員長あいさつ**

**委員長：** 委員長の村田です。私事を申し上げますと、学校の図書館長4年目になるが、図書館業務というのは実に多岐に渡る。小さい学校で小さい図書館、蔵書も10万冊位の大学だが、業務は非常にたくさんある。だから長野市ともなると、これだけ大きい街で2つ図書館があって、先ほどもシステムの話があったが、日々世の中のことに合わせて更新してなければならないことがたくさんあるので大変だと思う。この場は皆さんの意見をいろいろな角度から言っていただきたいので、ご協力をよろしくをお願いします。

### **（4）報告事項**

#### **ア 第四次長野市子ども読書活動推進計画について**

〈前回の会議において、委員から質疑があった内容について説明〉

**委員：**「すくすくナビ」について、「おひざで絵本」事業で絵本を配った時に、こうした情報は提供しているのか。

**事務局：**「おひざで絵本」の事業の中では提供していない。

**委員：**お母さんたちはこういうものがあることはご存じか。

**事務局：**母子手帳をお渡しする際に一緒にチラシを渡している。転入された方等にも渡している。

**委員：**今のお母さんたちはこういうチラシは見ない。アプリとか SNS とかで検索して見ている。

**事務局：**長野市のホームページ等で案内している。その他に、メール、LINE でも発信している。しかしながら、LINE 等いろいろな媒体があっても、ご本人が見ないと伝わらない。必要な情報は皆さんに取りに来ていただけるよう PR はしている。

### **（5）ア 令和5年度事業報告について**

〈事務局から「令和6年度図書館概要」により説明〉

**委員：**南部図書館の「図書館まつり」に昨年度参加させていただいた。委員の皆さんにも通知が行ったと思うが、私も初めて「図書館まつり」があることを知って小学4年生の子どもと一緒に来させていただいた。その中で信大の学生さんが工作を教えてくださいのコーナーがあり、学生さんが3、4名見えていた。信大の学生さんと小学生が交わる良い機会だと思ったが、会場がちょっと狭くて残念だった。2階の別の広い部屋（和室）のボードゲームのコーナーがものすごい人数がごった返していて、会場の割り振りは難しいと思うが、前年の状況を見ながら、どこの部屋で何をやるかを決めていただくと良いと思った。「図書館まつり」の周知方法についても、学校からお知らせが来るわけではなく、たまたま何かの形で知った人だけが来るようで、せっかくなにもったいないと感じた。

**事務局：**「図書館まつり」のボードゲームは予想以上に参加者が集まった。部屋が限られている中で、何とかやりくりしている。来場者の人数については予約制にしていなかったため、反省点である。今年も「図書館まつり」を10月26日、27日で開催する予定。内容については健康分野についての情報発信と体験ということで準備を進めている。案内については、メールや広報ながの等でお知らせする。ただし、見る人見ない人がいることについて、館内でも、来館者にはチラシを配布し、ポスターも掲示している。もう少し効果のあるものがあれば良いが、紙ではない方法で皆さんのお手元に情報が届くように検討したい。

**委員長：**聞いた限り「図書館まつり」はすごく面白そうだが、2千人というのは2日間ということか。

**事務局：**当日は、こんなに来ていただけるのかというのが正直なところだった。イベントの方も司書や職員が関わり、1階の貸し出しのお客さんもたくさん来ていただき、かなり混雑した時間帯もあった。

**委員長：**広報が仮に十分ではなかったとして、それだけ人が集まるということは、逆に今のお子さん、親御さんが、こういったものが好きで、求めているのだと思う。大学生も手伝ってくれたとのことだが、ボードゲームは図書館にあるのか。

**事務局：**某会社がお弁当代だけで来てくれるとのこと、お声をかけたらボードゲームも持ってきていただいた。小さいお子さん向けのものもお持ちいただき、当日、子供さんも目をキラキラさせながら遊んでいた。

**委員長：**素晴らしいお祭りになっているようだ。今まで気づかなかったが、とても興味深い。

**委員：**私も市のPTA連合会のフェイスブックで（館長の許可を得て）土曜日の模様を載せさせていただいたが、それを見た方が日曜日に来ていただければ良いと思った。

**委員：**図書館概要50頁にコピーサービスという項目があるが、これはどんな内容で、一人当たり何枚くらいか。

**事務局：**著作権の範囲内で図書館の本をコピーできるサービスである。1枚10円。住宅地図の依頼が多い。

**職務代理者：**図書館概要2頁、図書館の職員のうち、司書の数は何人か。

**事務局：**長野図書館が24人。

**事務局：**南部図書館が21人。

**職務代理者：**（司書が）正規職員と会計年度任用職員にいますということか。

**事務局：**司書職員の採用について、長野市は正規職員としては採用していないので、今示させて

いただいた人数は、会計年度任用職員のうち何名ということになる。ただ、例えば長野図書館でも正規職員は現在6人だが、司書としての採用ではないが、司書資格を持っているのが6人のうち2人いる。司書としての採用ではないので、先ほど申し上げた数字の中には入っていない。

**職務代理者：**司書を正規職員として採用しないのは何か理由があるのか。

**教育次長：**それぞれ自治体で考え方があってと思うが、長野市は当初から正規職員として司書を採用しておらず、現在もそういう状況が続いている。宇都宮市は司書職員を正規でそろえているようだが、その方が少数派。会計年度任用職員（非常勤）での採用で進めているところが多い印象。

**職務代理者：**司書を採用すると図書館にずっと勤務になるという事情もあると思うが、個人的な意見としては、司書は図書館で中心の業務を担うので、やはり正規職員が必要かと思う。今の話だと、正規職員がいるとのことで安心した。正規職員で司書を採用することが難しければ、司書資格のある職員を図書館職員の中に多く入れていただきたいと思う。それから、3頁の予算について、今年度が4億2千万円ということだが、教育費に対する割合は2.2%、前年度は3.7%となっているが、予算額が前年度に比べて減ったということか。

**事務局：**前年度は教育費のうちの図書館費が占める割合が3.7%ということ。説明の中で若干触れたが、今年度は昨年度あった工事費の2億円余りが無くなったため3.7%から2.2%になっているということで、本を買うお金等が減っているということではない。

**職務代理者：**長野市は現状どうかかわからないが、全国的に長野は教育県で教育に非常に力を入れているというイメージがまだまだ強い中で、是非、図書館費が減らないように願っている。今もいろいろご意見が出て、図書館で2千人も集まる楽しいイベントをしていて大変良いと思うが、その中に「ビブリオバトル」が入っていない。県立図書館だと定期的にやっているようだが、その辺はいかがか。

**事務局：**10年程前に「図書館まつり」で数回「ビブリオバトル」をやったことがある。ただ、「ビブリオバトル」を行える大きい会場が現在はリサイクル本の配布及び講演会の会場となっているため開催は難しい。

**職務代理者：**「ビブリオバトル」は割と評判が良いので、是非ご検討を。

**委員長：**「ビブリオバトル」は流行っているのか。

**職務代理者：**長野高専でも年2回やっている。人前でしゃべるのであまり人が来ないかなと思えば、継続して来る学生が多い。普及会の方にレクチャーしてもらおうと非常に入りやすいと思う。

**委員：**中学校の文化祭でも「ビブリオバトル」を取り入れている学校もあると聞く。普及会のお話があったが、(本来は)公式ルールがありそれに乗っ取ってやるということだが、中学校や小学校では学校のやりやすいようにやることもできるので、小学生と中学生が混じって異年齢でもできるので、そういう意味でも非常に有効な楽しいものだと思う。

**委員長：**委員は小学校、中学校で校長先生をやってこられたのか。

**委員：**自分が教員時代の時や教頭職や校長職になってからもやったことがある。小さい学校だと小中で、6年生と中学校1年生でやるとか。コロナ禍の時にはオンラインでできないか考えたり、交流にもつながる良い題材になると思っている。

**委員長：**少し聞いたことはあるが、そんなに盛り上がっているとは知らなかった。

**委員：**いろいろな良さがある。

**委員長：**若い人はそういうのは嫌いかと思っていたが、やり始めると面白いのか。

**委員**：今、異年齢でも仲間を大切にしようということを教育会でも言っているが、大人と子供でもいけるし、工夫の仕方でもとても良い普及活動にもなるし、子供達にとっては話すとか聞くとかいろいろな要素があると思う。

**職務代理者**：ルールもそんなに難しくないし、融通がきく。その場その場に合わせることができる。

**委員長**：高専も盛り上がるのか。

**職務代理者**：割と（盛り上がる）。読書が好きな学生が来るが、やはり読んだ本をみんなに向けてしゃべりたいというのがあると思う。

**委員長**：素晴らしい。清泉ではやっていないので、聞いたことはあるのだが。そこまで魅力があるから盛り上がるのかなと思う。学校でやることが多いのか。中学校、高校で。

**委員**：中学校の文化祭で結構最近流行っているようだ。

**職務代理者**：県立図書館は多分社会人の方（が多い）。

**委員長**：いろいろな意見を出していただいた。面白い話だと思う。

## （５）イ 令和6年度事業計画について

〈事務局から「令和6年度図書館概要」により説明〉

**委員**：計画どおりにやっていただければ良いと思う。私自身も南部図書館でボランティアとしてお手伝いさせていただいているので、「図書館まつり」などのイベントにたくさんの方に来ていただけるとやっている私たちの方が嬉しいので、是非楽しくやっていただきたいと思う。

**委員**：長野図書館の6年度の計画で「大人のためのお話会」とはどういうお話会か。

**事務局**：絵本でも子供さんが読むより大人の方が読んだ方が内容がわかるというか、心に沁みる本というのがとても多いと思う。そういった大人のための絵本をボランティアの方に読んでいただいたり、音を付けて演奏をしながら読んだりしている。今年度については語り（素語り）もやっていきたいと思っている。今まで5回くらいやってきて大変好評なイベントである。

**委員長**：どんな方がいらっしゃるのか。

**事務局**：ご夫婦や本がお好きな方等様々。「本当に素敵な空間だった」と感動して帰られる方が多い。

**委員**：私は南部図書館のすぐ近くで生活しており、子供連れのお父さんお母さんが図書館に出入りしている姿をよく見かける。私にとっては何か調べたりすること以外に図書館に用が無いと思っていたが、図書館のイベントに多くの方が訪れているので、高齢の方が参加できる催しがあれば、友達同士等でも行けて、もっと図書館が親しみやすくなるのかなと思う。図書館は私の年代、あまり利用していない者にとってはハードルが高いところかと思ったが、いろいろ子供向けのイベントは開催しているので、年配者向けにも門戸を開いていただいたら嬉しいし、また違う雰囲気が見られるのかなと思う。職員の方には大変ご苦労かと思うが、希望としては、是非、年配者向けにもそういう楽しい催しをお願いしたいと思った。

**委員長**：ありがとうございます。とてもいいまとめになった。親の介護とかしていると気づくが、田舎にはあまり人がいないとよく言われるが、一番人が集まるのは病院とかクリニック。そこにはたくさん人はいるが、他にはどこに人が集まっているのかなと思うことがある。図書館はうまくやればそういう意味で集まれる拠点になると思う。特に新型コロナの影響で、人と接しないのが当たり前になりつつあるのが少し嫌だなと思う。大人が集まりやすい、年配の人が集まり

やすい、というのが大事なことだと思うので、予算は少ないが頑張ってください、こういう協議会その他で協力し合って盛り上げていければと思う。

#### **(6) その他**

**事務局**：次回の図書館協議会については、2月に場所を長野図書館に移して開催の予定。またご案内等させていただく。

#### **(7) 開 会**

**教育次長**：長時間にわたり議論いただき感謝を申し上げる。大変貴重なご意見を頂戴したと考えている。いただいたご意見については、これからの長野市立図書館の運営に反映して参りたい。引き続き委員の皆様には市立図書館の運営にご協力を賜るようお願い申し上げます。また、途中で何かお気づきのことがあれば、どんどんご意見をお寄せいただきたい。本日は誠にありがとうございました。